

# 実施計画

第1巻	地形と環境		
<b>刊行までの 実施計画概要</b>	<p>本巻「第3章 古環境の変遷」は第3巻の執筆を行う上でも重要であり、また他の章を執筆する上での準拠すべき内容となる。そこで、まず始めに「古環境の変遷」を探る上で基礎的な資料となる地質ボーリング資料を対象として、整理および調査を実施し、平成26年度にその成果を報告書にまとめる。また、平成26～28年には市内の地形・露頭・地層断面・化石・遺跡の調査をはじめ、古地図・古文書・災害関係記録などの調査をおこなうとともに、地形・地質関係の文献収集をおこなって、平成27年度頃より分担を決め執筆に入る。【平成29年度刊行予定】</p>		
<b>年度ごとの 主な活動内容</b>	計 画		年度目標
	<b>平成 24年度</b>	委託により地質ボーリング資料の整理および調査を実施する。	「第3章 古環境の変遷」の基礎的な調査を進める。
	<b>平成 25年度</b>	昨年度実施した地質ボーリング資料の整理・調査の結果に基づき、その中間報告をまとめる。	『市史研究いちかわ』第5号での報告
	<b>平成 26年度</b>	地質ボーリング資料の調査報告書を執筆し、刊行する。 市内の地形・露頭・地層断面・化石・遺跡、古地図・古文書・災害関係記録などの調査を開始する。	報告書の刊行

# 実施計画

第2巻	ムラとマチ	
<p>刊行までの 実施計画概要</p>	<p>第1章・第2章については、平成23年度に緊急雇用事業で権現原遺跡（旧石器時代）および曾谷貝塚（縄文時代）の出土遺物の整理を行った。平成24年度に若干の補足調査を行い、それぞれの中間報告をまとめることで、市史本編の執筆へとつなげる。第3章については、これまでの市内遺跡の発掘成果を盛り込むために、平成28・29年の2年間でとりまとめをおこない、平成28年度頃から分担を決め執筆に入る。第4章は、平成26年度まで寺院文書の解読、金石文を中心に調査を行い、調査結果を踏まえた巻構成および執筆者の依頼を平成28年度までに決定する。その後、執筆と編集を進めていく。第5章および第6章は、平成28年度まで史料の解読を中心に調査を実施する。第3巻も含め、解読を進めた地域ごとに小括をし、本編執筆に備える。平成29年度から、執筆と編集を行う。平成30年度刊行。</p>	
<p>年度ごとの 主な活動内容</p>	計 画	
	平成 24年度	年度目標
	<p>緊急雇用事業で整理を行った曾谷貝塚（縄文時代・国史跡）および権現原遺跡（旧石器時代）の出土資料について、補足調査を実施する。 第4章：①市川市内石碑（板碑等）調査。弘法寺で板碑等の石碑調査を行い、可能であれば、所蔵文書についての予備調査も実施する。②寺社史料の検討 第5章：①御用留調査。第6章①古文書調査資料の準備。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板碑調査内容を調査記録にまとめる</li> <li>・曾谷村御用留を史料紹介として、『市史研究いちかわ』4号に掲載する。あるいは、調査報告書を作成する。</li> </ul>
平成 25年度	年度目標	
<p>前年度までに調査を実施した権現原遺跡（旧石器時代）出土の資料について、中間報告をまとめる。 第4章および第5章：市川市内文書調査（市内寺院文書） 第5章：①古文書調査資料の準備。②古文書調査。第6章：①地域重点調査（行徳）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行徳地域の調査結果を調査記録にまとめる。</li> </ul>	
平成 26年度	年度目標	
<p>前年度までに調査を実施した曾谷貝塚（縄文時代・国史跡）出土の資料について、中間報告をまとめる。 第4章および第5章：市川市内文書調査（市内寺院文書） 第5章：①古文書調査資料の準備。②古文書調査。第6章：①市外史料調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曾谷村御用留を史料紹介として、『市史研究いちかわ』6号に掲載する。あるいは、調査報告書を作成する。</li> </ul>	

# 実施計画

第3巻	まつりごとの展開		
<p>発行までの 実施計画概要</p>	<p>第1章・第2章については、調査報告書『下総国戸籍』の記載と関連する千葉県北西部の集落遺跡の調査・分析を進め、平成25年度に報告書にまとめる。また、第2章については、これまでに実施した国府の発掘調査の主要な成果を平成26年度に報告書にまとめる。その後、以上3つの報告書をもとに平成26年度から分担を決め執筆に入る。第4章・第5章については、平成26年度までは、市川市に関連する市外に所蔵される史料、また市川市内の寺院文書を中心に調査を実施する。平成27年度以降、巻構成の再考後、執筆・編集へと進める。第6章・第7章は、史料解読をより有効に行うための史料調査準備を平成26年度まで重点的に実施する。平成27年度から28年度は、史料調査と執筆を並行して実施する。平成28年度刊行。</p>		
<p>年度ごとの 主な活動内容</p>	計 画		年度目標
	<p>平成 24年度</p>	<p>千葉県北西部の集落遺跡の調査および分析を進める。 第4章・第5章：①市川関連の資料所在調査および検討。②寺社文書の調査。 第6章・第7章：①古文書調査資料の準備。②古文書調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺社史料について報告を作成し、『市史研究いちかわ』4号に掲載し市民に情報を還元する。</li> </ul>
	<p>平成 25年度</p>	<p>前年度までに調査・分析を進めた千葉県北西部の集落遺跡の調査報告書を執筆し、年度末の刊行を目指す。（考古博物館では企画展を開催する。） 第4章・第5章：①市川関連の資料所在調査および検討。②寺社文書の調査。 第6章・第7章：①古文書調査資料の準備。②古文書調査（市川町地域）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落遺跡の調査報告書の刊行</li> <li>・市川地域の古文書調査結果を調査記録にまとめる</li> </ul>
	<p>平成 26年度</p>	<p>国府の調査報告書を刊行する。 第4章・第5章：①市川関連の資料所在調査および検討。②寺社文書の調査。 第6章・第7章：①古文書調査資料の準備。②古文書調査（大柏地域）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国府の調査報告書の刊行</li> <li>・大柏地域の古文書調査結果を調査記録にまとめる</li> </ul>

# 実施計画

第4巻	変貌する市川市域		
<p>発行までの 実施計画概要</p>	<p>平成31年の刊行にむけて、平成28年度まで章立てに即した調査を実施する。ただし、平成26年度までは、本編に先行して刊行する写真図録の調査に重点をおいて活動する。平成29年度までに予備調査と調査結果を踏まえた巻構成および執筆者の依頼を決定する。その後、執筆と編集と進めていく。4巻ではテーマを重視した構成とし、各論担当者が調査を進めていくが、巻全体での位置づけを明確にするため、執筆担当者による協議を積極的に重ねていく。なお検討対象は、概ね20世紀までとする。</p>		
<p>年度ごとの 主な活動内容</p>	計 画	年度目標	
	<p>平成 24年度</p>	<p>①写真資料の整理 ②図像の解析 ③市川市内学校調査 ④市川市発行資料整理 学校調査は私立学校を中心に実施予定。おもに国府台地域となる。市発行資料は『広報いちかわ』</p>	<p>・『写真図録』の構成を決定する。</p>
	<p>平成 25年度</p>	<p>①写真資料の整理 ②図像の解析 ③市域の団体調査 ④市川市発行資料整理 団体調査は農協などの経済団体や商工会議所などを中心に実施する。市発行資料は『広報いちかわ』</p>	<p>・『広報いちかわ』のトピックスなどを調査報告①にまとめる。</p>
<p>平成 26年度</p>	<p>①写真図録の執筆と編集 ③市域の企業調査 ④民間発行資料整理 写真図録の刊行にむけて活動をおこなう。民間発行資料は『市川市民新聞』</p>	<p>・『写真図録』の刊行 ・『広報市川』のトピックスなどを調査報告②にまとめる。</p>	

# 実施計画

<p><b>第5巻</b></p>	<p><b>民俗(仮)</b></p>		
<p><b>刊行までの 実施計画概要</b></p>	<p>平成31年の発刊を目指し、予備調査(～25年)、本調査及び巻構成の決定・執筆依頼(25～26年)、補足調査及び執筆(27～29年)、編集(28～31年)の順に進めていく。 予備調査の段階では、近世期以降の史料及び既存の調査報告書の収集整理による文献調査、北部・中部・南部の3地域から各2～3地点を選出したフィールド・ワークを中心に、市川市域全体の民俗概要の把握に努める。また、市域の特色が現れている民俗事象をテーマごとに取り上げる。テーマ設定は、予備調査の段階から検討を重ね、本調査の段階で全体構成における位置づけを明確にする。</p>		
<p><b>年度ごとの 主な活動内容</b></p>	<p><b>計 画</b></p>		<p><b>年度目標</b></p>
	<p><b>平成 24年度</b></p>	<p>フィールドワークによる所在(サンプル)調査を行う。 テーマ別調査では、「市川の墓制」で共同墓地を、「生業」で漁業を、昨年に継続し調査する。</p>	<p>年度内に実施した所在調査の内容をまとめる。 地蔵山墓地等の調査報告書を作成する。</p>
	<p><b>平成 25年度</b></p>	<p>未調査地域の所在(サンプル)調査を行う。 本調査のテーマ設定を行い、実施する。</p>	<p>年度内に実施した所在調査の内容をまとめる。 巻構成を決定させる。</p>
	<p><b>平成 26年度</b></p>	<p>引き続き、テーマ別に本調査を行う。 次年度に向け、補足調査のための洗い出しを行う。</p>	<p>執筆の依頼および準備を行う。</p>

# 実施計画

第6巻	自然とその変遷		
<p>刊行までの 実施計画概要</p>	<p>平成24年度の頭には正式な執筆依頼を済ませ、必要な補足調査の洗い出しを行う。 平成25年度までに主要な補足調査を終え、26年度末までに第1次原稿を集約する。 平成26・27年度に編集・校正を行い、27年度末に刊行する。</p>		
<p>年度ごとの 主な活動内容</p>	計 画		年度目標
	<p>平成 24年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足調査（ヒートアイランド、樹林現況、黒松群、都市型生物、アカガエル産卵、鳥類最新情報等）</li> <li>・基礎資料の収集・整理（デジタル土地利用図〈委託〉、実態調査報告書2003のデジタル化〈継続〉等）</li> <li>・追加補足調査の洗い出し</li> <li>・調査記録3発行</li> </ul>	<p>正式執筆依頼 執筆開始</p>
	<p>平成 25年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足調査（都市型生物、アカガエル、聞き取り〈山林〉、追加調査他）</li> <li>・基礎資料の収集・整理（古写真デジタル化、動植物リスト作成等）</li> <li>・調査記録4発行</li> </ul>	<p>主要な調査・資料収集終了</p>
	<p>平成 26年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料・データ整理</li> <li>・下原稿作成</li> <li>・編集・校正作業</li> <li>・調査記録5発行</li> </ul>	<p>第1次原稿集約 編集開始</p>